

2025年 3 月期 第 1 四半期決算説明資料

2024年7月31日

NECキャピタルソリューション株式会社

\Orchestrating a brighter world

NECは、安全・安心・公平・効率という社会価値を創造し、
誰もが人間性を十分に発揮できる持続可能な社会の実現を目指します。

目次

1. 2025年3月期 実績報告
 - 1) 決算ハイライト
 - 2) 事業環境
 - 3) 業績概要
 - 4) 事業別損益
 - 5) 事業別の営業状況
 - 6) リース事業の営業状況
 - 7) ファイナンス事業の営業状況
 - 8) インベストメント事業の状況
 - 9) 営業資産残高の状況
 - 10) 資金調達の状況
 - 11) 与信関連費用
2. 2025年3月期 計画
3. 主要株主等の異動について

1. 2025年3月期第1四半期 実績報告

1) 決算ハイライト

【事業環境】

- ・ 業界全体のリース取扱高は前年同期比15.1%増
- ・ 資金調達環境や倒産状況は引続き今後の動向に注視が必要

【営業実績】

- ・ リース事業の契約実行高は前年同期比増加、成約高は前年同期比大幅増加
- ・ ファイナンス事業は、契約実行高・成約高共に前年同期比増加

< リース事業 >	契約実行高：	1.9%増	成約高：	17.3%増
< ファイナンス事業 >	契約実行高：	2.4%増	成約高：	2.1%増

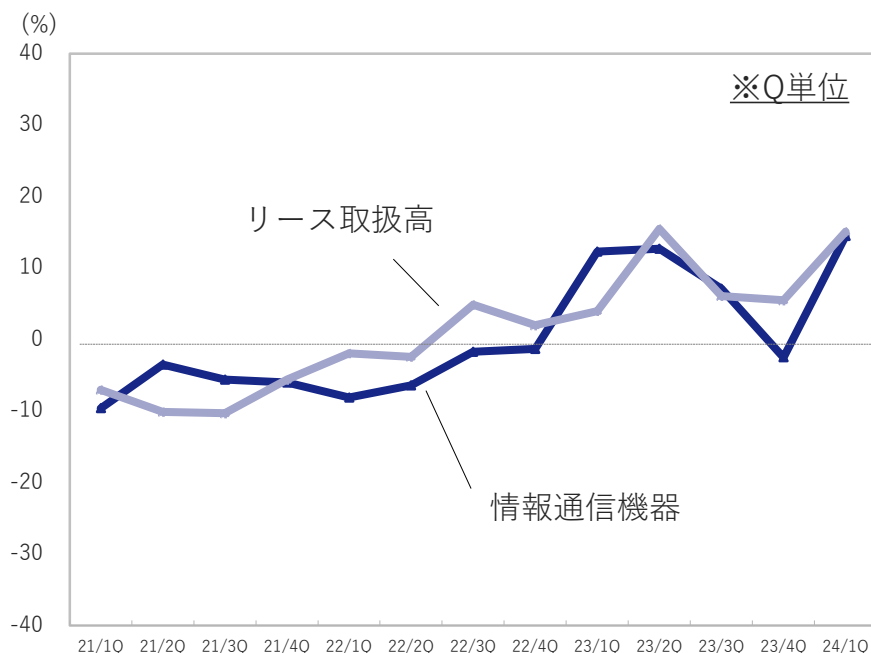
【経営成績】

- ・ 各事業が着実に伸長したことに加え、与信関連費用が低位安定に推移し、売上高、利益共に前年同期比増加

2) 事業環境

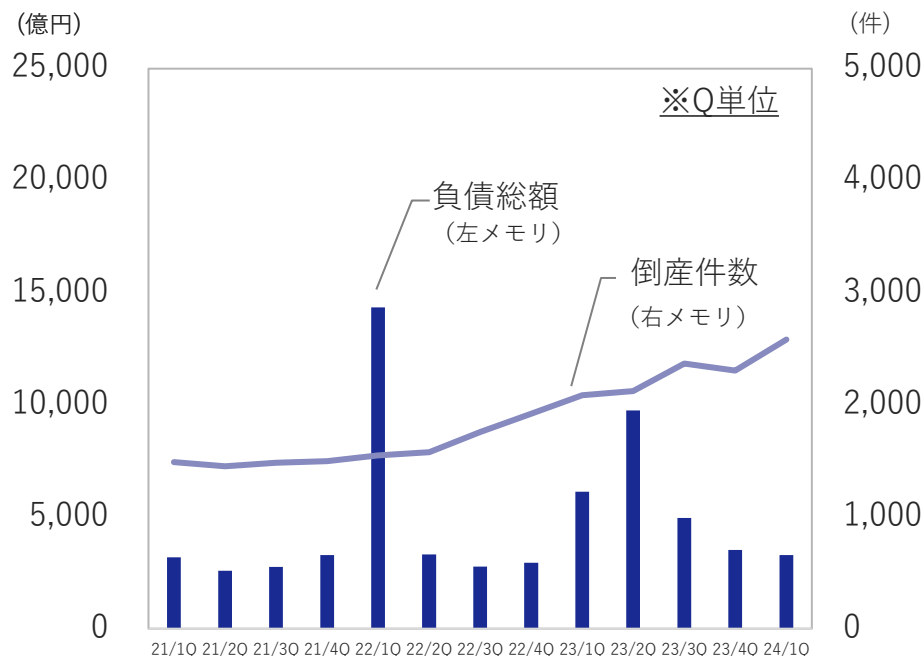
- ・リース取扱高：業界全体は前年同期比15.1%増、
当社主力の情報通信機器は前年同期比14.5%増
- ・倒産状況：負債総額は前年同期比減少するものの、中小規模を中心に倒産件数が増加

■ リース取扱高動向（前年同期比推移）



（社団法人リース事業協会：リース統計より）

■ 倒産状況（負債総額/件数）



（帝国データバンクHP：倒産集計より）

3) 業績概要

- ・ 売上高 ： 順調な推移で前年同期比増加
- ・ 四半期純利益： 売上総利益の着実な積み上げ等により、前年同期比大幅伸長

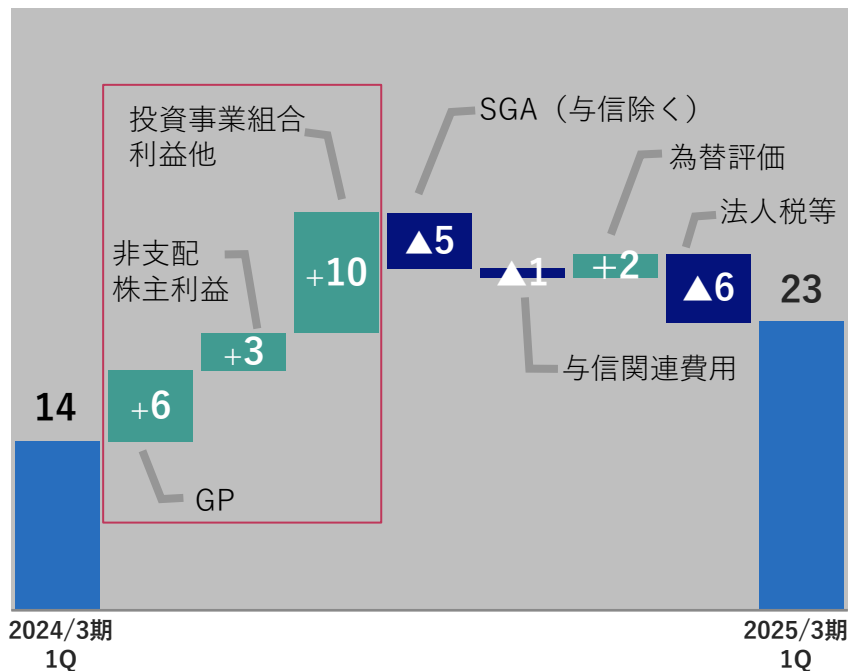
■ 業績数値

(単位：億円)

	2024/3期 1Q	2025/3期 1Q	前年同期比
売上高	605	615	+1.7%
営業利益	25	26	+2.1%
経常利益	24	37	+52.4%
親会社株主に帰属する四半期純利益	14	23	+64.1%
1株当たり四半期純利益	65円04銭	106円70銭	—
営業資産残高	9,599	9,847	+2.6%
純資産	1,318	1,398	+6.1%
自己資本	1,102	1,184	+7.4%
自己資本比率 (%)	10.6	10.7	—

■ 四半期純利益 前年同期比主要増減要因

(単位：億円)



4) 事業別損益

■ 事業別損益

(単位：億円)

		2024/3期 1Q	2025/3期 1Q	前年同期比
リース事業	売上高	561	566	+0.9%
	売上総利益	40	42	+4.1%
	営業利益	14	16	+8.1%
ファイナンス事業	売上高	18	20	+9.7%
	売上総利益	12	13	+13.1%
	営業利益	10	10	▲6.3%
インベストメント事業	売上高	19	20	+10.0%
	売上総利益	13	14	+12.4%
	営業利益	5	6	+8.9%
その他の事業	売上高	8	9	+24.9%
	売上総利益	4	5	+36.9%
	営業利益	1	2	+199.1%
計	売上高	605	615	+1.7%
	売上総利益	68	74	+8.7%
	営業利益	25	26	+2.1%

※短信セグメント情報のうち、「調整額」を除いて表示

<<リース事業>>

・基礎収益の改善に加え、貸倒引当金の戻入があったことから売上総利益・営業利益ともに前年同期比増加

<<ファイナンス事業>>

・売上総利益は金利収益や配当収入の増加に伴い増加したものの、貸倒引当金の戻入の減少により、営業利益は前年同期比減少

<<インベストメント事業>>

・インカムゲインアセットの収益を着実に計上し、売上・利益は前年同期比増加

<<その他の事業>>

・太陽光やヘルスケアの取り組みの進展に加え、PFI事業のフィー収入の増加に伴い、売上・利益共に前年同期比増加

5) 事業別の営業状況

■ 事業別契約実行高

(単位：億円)

	2024/3期 1Q	2025/3期 1Q	前年同期比
リース事業	437	445	+1.9%
賃貸事業	388	404	+4.2%
割賦販売	49	41	▲16.3%
ファイナンス事業	818	837	+2.4%
営業貸付金	537	552	+3.0%
一括ファクタリング	281	285	+1.3%
その他の事業	8	—	—
計	1,263	1,282	+1.6%

■ 事業別成約高

(単位：億円)

	2024/3期 1Q	2025/3期 1Q	前年同期比
リース事業	532	624	+17.3%
賃貸事業	490	590	+20.4%
割賦販売	42	34	▲19.1%
ファイナンス事業	812	829	+2.1%
営業貸付金	531	545	+2.5%
一括ファクタリング	281	285	+1.3%
その他の事業	—	—	—
計	1,344	1,453	+8.1%

- ・ 契約実行高は前年同期並みを確保
- ・ 成約高はリース事業の伸長等により前年同期比増加

6) リース事業の営業状況

■ 業種別契約実行高

(単位：億円)

	2024/3期 1Q	2025/3期 1Q	前年同期比
官公庁	154	157	+2.1%
民需	283	288	+1.7%
サービス業	105	106	+0.6%
流通業	51	40	▲21.9%
製造業	74	78	+5.7%
その他	53	64	+21.3%
計	437	445	+1.9%

■ 業種別成約高

(単位：億円)

	2024/3期 1Q	2025/3期 1Q	前年同期比
官公庁	291	374	+28.7%
民需	241	250	+3.6%
サービス業	95	84	▲11.9%
流通業	36	33	▲6.6%
製造業	49	70	+42.7%
その他	61	63	+2.4%
計	532	624	+17.3%

■ (参考) 機種別契約実行高

(単位：億円)

	2024/3期 1Q	2025/3期 1Q	前年同期比
情報通信機器	313	355	+13.4%
電子計算機及び関連装置	140	186	+32.4%
ソフトウェア	125	135	+8.2%
通信機器及び関連装置	47	34	▲29.3%
事務用機器	40	42	+4.6%
その他機器	84	49	▲42.1%
計	437	445	+1.9%

<<業種別契約実行高>>

- ・官公庁は堅調に案件を獲得し前年同期比増加
- ・民需は流通業の減少をその他以て補い前年同期並みを確保

<<業種別成約高>>

- ・官公庁は大型案件を複数獲得し前年同期比大幅増加
- ・民需は製造業が増加し前年同期比増加

7) ファイナンス事業の営業状況

■ 契約形態別契約実行高

(単位：億円)

	2024/3期 1Q	2025/3期 1Q	前年同期比
立替・APF・割賦バック	42	42	▲0.6%
個別ファクタリング	273	262	▲4.0%
一括ファクタリング	281	285	+1.3%
企業融資	196	233	+18.9%
その他	26	15	▲39.9%
計	818	837	+2.4%

■ 業種別契約実行高

(単位：億円)

	2024/3期 1Q	2025/3期 1Q	前年同期比
官公庁	2	0	▲78.5%
民需	534	552	+3.3%
サービス業	31	40	+27.6%
流通業	31	7	▲76.6%
製造業	275	276	+0.3%
金融業・保険業	87	71	▲18.6%
不動産業	80	113	+41.7%
その他	30	45	+52.4%
一括ファクタリング	281	285	+1.3%
計	818	837	+2.4%

<<契約形態別契約実行高>>

- ・ NECグループの資金ニーズを取り込み企業融資が伸長

<<業種別契約実行高>>

- ・ 不動産業、その他を中心に増加

8) インベストメント事業の状況

■ 事業別損益

(単位：億円)

		2024/3期 1Q	2025/3期 1Q	差異
アセットビジネス	売上高	16	15	▲1
	売上総利益	11	11	▲0
	営業利益	7	5	▲1
不動産	売上高	1	4	2
	売上総利益	1	2	1
	営業利益	▲1	▲0	1
アドバイザー	売上高	1	2	1
	売上総利益	1	2	1
	営業利益	▲0	1	1
連結ベース 計	売上高	19	20	2
	売上総利益	13	14	2
	営業利益	5	6	0

※「調整額」を除いて表示

着実に収益を計上し、売上・利益共に前年同期比増加

<<アセットビジネス>>

- ・債権投資等で収益を計上

<<不動産>>

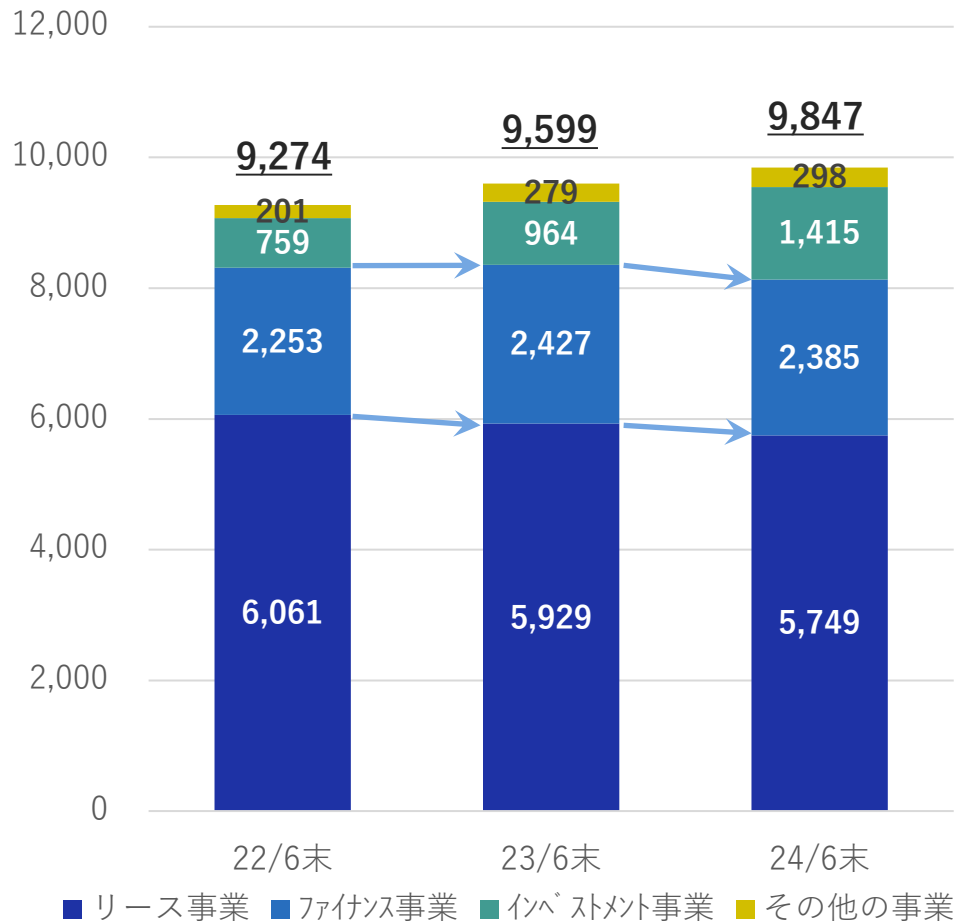
- ・インカムゲインアセットからの収益を計上し、前年同期比増加

<<アドバイザー>>

- ・前年並みの推移

9) 営業資産残高の状況

(単位：億円)



<<リース事業>>

- ・ GIGAスクール特需後の通減はあるものの小口リース、海外現法の資産増加により減少幅を抑制

<<ファイナンス事業>>

- ・ 残高は前年同期比減少となるものの、アセットの入れ替えは進展

<<インベストメント事業>>

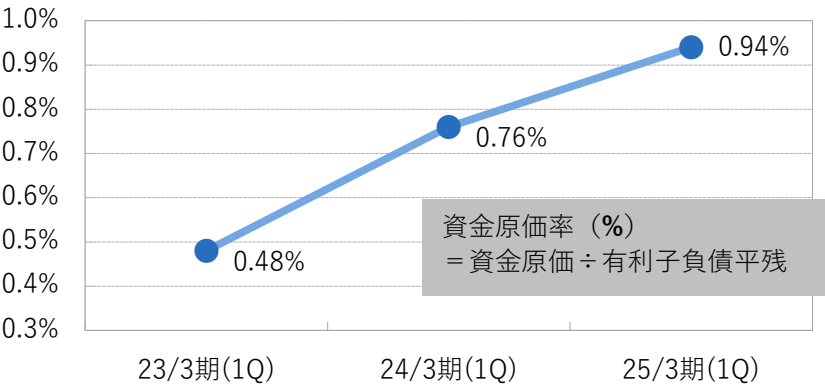
- ・ インカムゲインアセットの取得等により前年同期比451億円増加

<<その他の事業>>

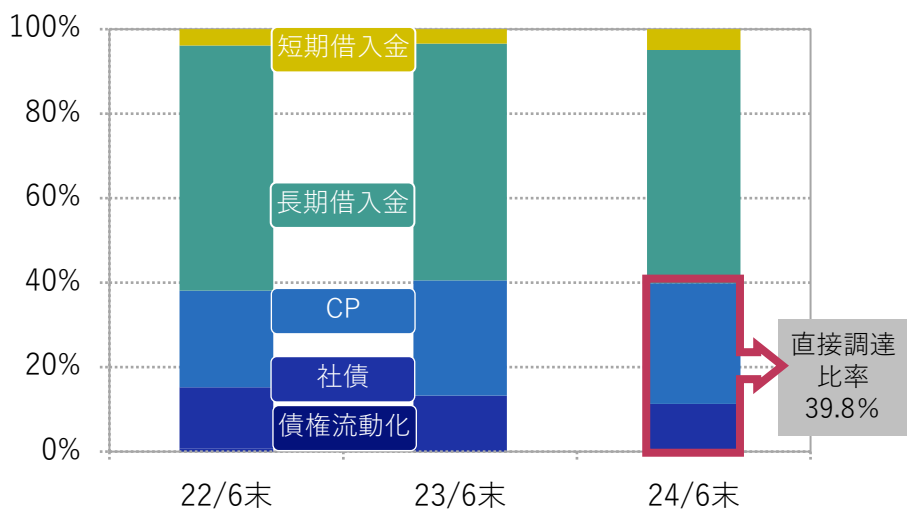
- ・ ヘルスケアと太陽光の取り組み進展に伴い前年同期比19億円の増加

10) 資金調達状況

■ 資金原価率



■ 有利子負債構成比



■ 有利子負債残高

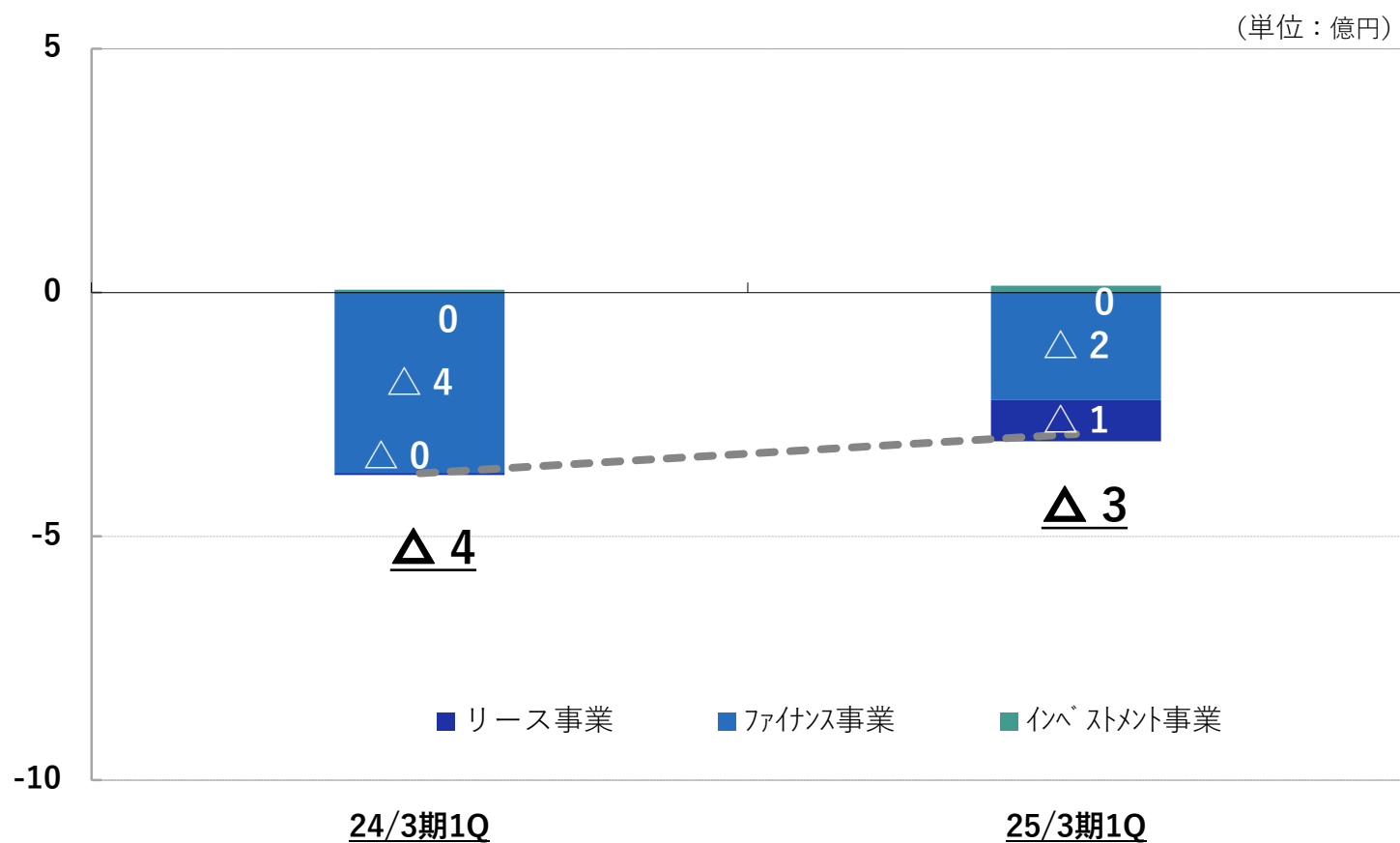
(単位：億円)

	2023/6末	構成比	2024/6末	構成比	増減
短期借入金	292	3.4%	448	4.9%	+155
長期借入金	4,796	56.1%	5,053	55.3%	+257
CP	2,330	27.2%	2,610	28.5%	+280
社債	1,102	12.9%	1,007	11.0%	▲95
債権流動化	36	0.4%	25	0.3%	▲11
計	8,556	100%	9,143	100%	+587

- 資金原価率は、市場金利の上昇に伴い円貨外貨共に上昇し、前年同期比0.18ポイント増加の0.94%
- 直接調達比率は、おおむね40%程度を目線とし、2024/6末は39.8%（2023/6末40.5%）

11) 与信関連費用

- ・ 小口の倒産に注意が必要なものの、全体的に低位安定で推移



2. 2025年3月期 計画

1) 業績予想

- ・引き続き収益性の向上に取り組み、利益面では最高益更新を計画
- ・利益予想を踏まえ、配当金は20円の増配を計画

(単位：億円)

■ 業績予想

	2025/3期 1Q(実績)	2025/3期 年間(予想)
売上高	615	2,600
営業利益	26	120
経常利益	37	125
親会社株主に帰属する純利益	23	80
1株当たり純利益 (円)	106円70銭	371円50銭

■ 1株当たり配当金

	第2四半期末	期末	年間
2024/3期 実績	65円00銭	65円00銭	130円00銭
2025/3期 予想	75円00銭	75円00銭	150円00銭

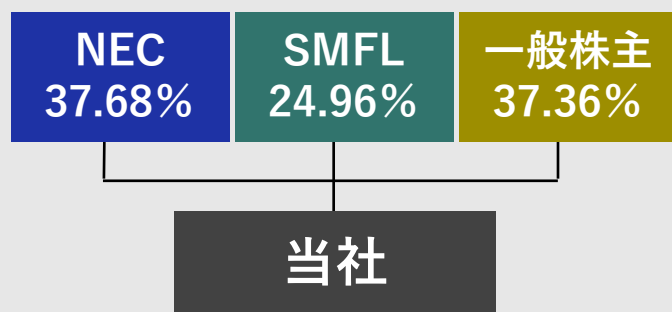
3. 主要株主等の異動について

1) 主要株主等の異動

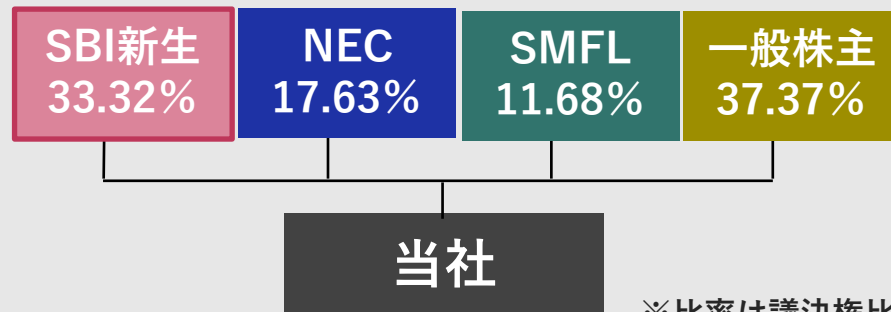
◆ 主要株主等の異動

- 2024年7月12日に業務提携に関する基本合意および主要株主等の異動に関するお知らせを公表
- 当社の株式の33.32%を株式会社SBI新生銀行（SBI新生）が取得予定
 - 取得予定の株式は、当社の筆頭株主であるNECと、二番手の株主である三井住友ファイナンス&リース株式会社（SMFL）の保有分からの取得
- 異動予定：2024年10月上旬

<現在の資本構成>



<異動後>



※比率は議決権比率

2) 業務提携契約等の締結および今後の方向性

◆ 業務提携契約等の締結

- 本異動に伴い、SBI新生、昭和リース株式会社（昭和リース）、当社の3社間の業務提携に関する基本合意書等を締結

また、NECと当社の2社間においても、今後の関係継続のため業務提携契約等を締結

<SBI新生・昭和リースとの事業提携の想定範囲>

- ・ 当社と昭和リースが相互の強みを補完することで、リース事業における新たな事業機会を創出すること
- ・ 当社とSBI新生銀行がストラクチャードファイナンス分野での連携による投融資事業のさらなる強化を図ること
- ・ SBI新生銀行と昭和リースが介在し、当社と地域金融機関及びリース子会社が不動産リース、ヘルスケアアセット、再生可能エネルギー等の分野におけるお客さまの多様なニーズに対応すること

◆ 今後の方向性

- NECグループにおける重要な役割を果たしつつ、当社と事業上の親和性及び補完性のある金融グループであるSBI新生との連携によって、当社の成長戦略を加速、更なる企業価値向上を図る
- グループビジョン2030および中期計画2025において進めている成長戦略を維持、事業体制を継続予定
- 本件が業績に及ぼす影響は現在精査中

ご参考：各社の会社概要

◆SBI新生銀行



商号	株式会社SBI新生銀行
本社所在地	東京都中央区日本橋室町二丁目4番3号
創立	1952年12月1日
代表取締役社長	川島 克哉
事業内容	銀行業
資本金	5,122億円（2024年3月末）
総資産（連結）	16兆489億円（2024年3月末）
純資産（連結）	9,667億円（2024年3月末）
売上高（業務粗利益）	2,679億円（2024年3月期）
当期純利益（連結）	579億円（2024年3月期）
大株主等	SBI地銀ホールディングス株式会社 64.81% 預金保険機構 11.11% 株式会社整理回収機構 11.11% 株式会社エスグラントコーポレーション 12.96%

◆昭和リース



商号	昭和リース株式会社
本社所在地	東京都中央区日本橋室町二丁目4番3号
創立	1969年4月2日
代表取締役社長	平野 昇一
事業内容	総合リース業 情報関連機器、産業・工作機械、建設機械、医療機器、商業設備、航空機などのリース、割賦販売ならびに各種ファイナンス業務 生命保険の募集に関する業務
資本金	293.6億円（2024年3月末）
総資産	6,964億円（2024年3月末）
純資産	1,005億円（2024年3月末）
売上高	1,180億円（2024年3月期）
経常利益	54億円（2024年3月期）
当期純利益	36億円（2024年3月期）
大株主等	株式会社SBI新生銀行 100%

ご参考：SBI新生銀行グループ商品・サービス紹介

ユニークな商品・サービス

SBI新生銀行グループは、銀行とノンバンクの機能を併せ持つハイブリッドな総合金融グループです。

SBIグループが持つ金融生態系・機能を取り込み、お客さまが真に求める商品・サービス・機能を提供します。

SBI新生銀行グループと協業を行うSBIグループの主要グループ会社



※ 2025年1月に社名変更予定

本資料に記載されている株主・投資家向け情報は、投資勧誘・保証を目的として作成されたものではありません。実際に投資を行う際は、ご利用者ご自身のご判断において行われるようお願い致します。

本資料に記載されている当社の計画、戦略及び業績見通しは、将来の予測であって、リスクや不確定な要因を含んでおります。

また、本資料に記載されている経営目標は予想ではなく、将来の業績に関する経営陣の現在の予想を反映したものでもありません。むしろ、経営陣が事業戦略の実行を通じて達成しようとする目標であります。

実際の業績等は、さまざまな要因により、見通し等と大きく異なる結果となりうることをあらかじめご承知願います。実際の業績等に影響を与えうる重要な要因としては、当社の事業領域を取り巻く経済情勢及び規制や法令の変更、潜在的な法的責任、当社のサービスに対する需要変動や競争激化による価格下落圧力などがありますが、これら以外にも様々な要因がありえます。また、世界経済の悪化、世界の金融情勢の悪化、国内外の株式市場の低迷などにより、実際の業績等が経営目標その他の見通しと異なる結果となる可能性もあります。

当社による将来予測に関する記述は、その日現在のものであることをご承知おきください。新たなリスクや不確定要因は随時生じるものであり、その発生や影響を予測することは不可能であります。また、リスクや不確定要因があるため、将来予測に関して記述されていることが実際には起こらない場合もありえます。これらの記述に全面的に依拠することは控えるようお願いします。

NECキャピタルソリューション グループビジョン

次世代循環型社会をリードする Solution Company



\Orchestrating a brighter world

NEC